

- ・血管腫：小さなものに適用されます。
- ・肥厚性癬痕
- ・脱毛症：高熱の出る疾患の後に、髪がまばらに抜けます。円形脱毛症になることもあります。新しい毛もばさついで、艶がありません。
- ・虫歯：初期の段階。歯のエナメル質が薄く、とくに歯根部の近くの齲食が急速に進行していきます。

#### ■その他

- ・性欲過剰
- ・持続勃起症：常に性的なことに夢中になります。
- ・勃起不全：通常、過度の性交の後に起こります。
- ・頭痛：排尿を我慢すると悪化します。排尿すると楽になります。頭蓋の縫合線に沿って痛みを感じます。
- ・鼻感冒：多量の水様性の鼻みずが出ます。

#### MODALITY

- 冷水浴、外気、冷湿布、涼しい部屋、急な動き、短時間の睡眠、頭を後ろに反らすこと、食事、排尿など
- ✖ 暑さ、熱い空気、温かい食事、熱い飲物、冬の厳しい寒さ、夜、アルコール飲料、赤ワイン、酸っぱい食べ物など

#### RELATIONS

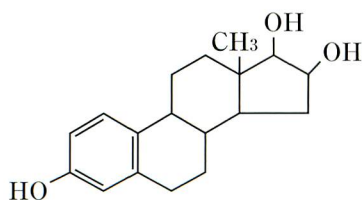
- ・ Complementary : Silica
- ・ Compatible : Arsenicum album, Kali carbonicum, Phos-acidの後
- ・ Followed well by : Sulphur, Nitricum acidum

## Folliculinum エストロゲン $C_{18}H_{22}O_2$ [女性ホルモン]

Estrogen- $C_{18}H_{22}O_2$

#### BACK GROUND

Folliculinum は、卵胞ホルモンとも呼ばれる女性ホルモンの1つ、エストロゲンです。排卵、月経、妊娠、授乳など女性の生殖機能を司るホルモンで、月経の終わり頃から排卵前にかけて分泌が高まります。エストロゲンは、40代半ば頃から分泌が急激に減少しはじめ、50歳頃にはエストロゲンの分泌低下により、月経がなくなります。これが閉経で、その前後の時期を更年期と呼び、さまざまな精神的身体的症状が出る場合があります。



エストロゲンが年齢とともに分泌低下するのは、自然なホルモン分泌の流れなのですが、これをさまざまな形で外部から補充することによって、内部攪乱物質となり、身体の深い所から時間をかけて影響していきます。

著者は当初、このレメディは、避妊ピルやホルモン補充療法などが欧米ほど普及していない日本では、重

要視されていませんでした。ところが、明らかに必要な例が多く、実はエストロゲンは、食肉を通して日本でも非常に広く深く蔓延していることがわかりました。

牛や鶏の餌に多量のエストロゲンを混ぜると、肉がむくんでより肥育しやすく、また乳の出もよくなることから、長い間使用されてきました。この影響は、将来にわたって長く続きます。エストロゲンが長い期間にわたって弊害を及ぼすことは、欧米での非常に多くの症例から、証明されています。いわば、環境ホルモンのような作用を示します。

1940年代から1970年代初頭にかけて、欧米諸国で、妊婦に合成エストロゲン製剤であるジエチルスチルベストールが、妊娠中の補助剤として広く使用されていました。しかしながら、数十年後の疫学的調査で、この製剤を飲んだ母親から生まれた子供たちは、膣・頸部腺癌、膣上皮の変化、子宮の奇形、早産、不妊、子宮外妊娠（以上女兒）、精巣發育不全などの各種生殖系疾患の発生率が、著しく高いことが判明しました。このように、エストロゲンの影響は、非常に長い期間を経てから顕在化していき、親から子へと受け継がれます。

米国立癌研究所は、閉経後の健康な女性へのエストロゲン補充療法で、卵巣癌になる確率が増加すること

が、大規模な臨床試験で判明したと発表しています。また日本では、避妊用ピルの使用率は非常に少ないようですが、いまだ長期にわたる副作用に対する認識は、高いとは言えません。欧米では現在、すべてのエストロゲン製剤が妊婦に対し禁忌となっています。

### FIRST PROVING

このレメディは、通常行われる試験的なプルービングはありませんが、世界中の臨床例が数多くあります。

### MIND

Folliculinum タイプは、主に女性で、動揺したり、傷つきやすく、誰かによってコントロールされているような感じがします。他人の期待どおりに過ごしているようにも感じられます。そのため、なかなか自分本来のリズムを取り戻すことができないでいます。それでも1人であることは好みません。

自分の体力を過大評価していて、結局は疲れ果ててしまいます。また、意志の力が弱まったり、自己否定したり、個性をもたなくなり、自分が誰であるのかさえわからなくなることがあります。

### AFFINITY

Folliculinum は、主に女性生殖器に作用します。

### CLINICAL APPLICATIONS

■生殖器系：すべての症状は、排卵から月経までの間に悪化する傾向があります。

- ・更年期障害：主に次のような症状があります。月経不順、紅潮、多量の月経血、寝汗、喘ぎ呼吸、めまい、下腹部の鈍重感、活動過多、腔粘膜の乾燥、外部の刺激に過敏、精神的諸症状など
- ・月経前症候群：主に次のような症状があります。片頭痛、吐き気、嘔吐、乳腺の腫脹と痛み、下痢や便秘、性欲喪失や性欲亢進、活動過多、月経痛、無気力、うつ状態、情緒不安定、外部の刺激に過敏など
- ・月経不順
- ・無月経
- ・月経困難症：卵巣を中心とした痛みがあり、月経血も多く長く出ます。明るいい色の血と黒い凝血が出ます。
- ・卵巣嚢胞：性欲が亢進することもあります。
- ・子宮内膜症
- ・子宮筋腫
- ・カンジダ症

### ■その他

- ・再発性膀胱炎
- ・レイノー病：寒さや激しい感情によって、両側の指に痙攣性のチアノーゼが起こります。
- ・過食症、拒食症
- ・鼓腸
- ・便秘
- ・狭心症
- ・慢性疲労症候群
- ・乳離れしない子供
- ・出産後に赤ちゃんとの絆に自信がもてない
- ・片頭痛
- ・腰痛：排卵期から月経前にかけて悪化します。
- ・パニック障害
- ・体重増加：あまり食生活に変化がないのに、月経前や排卵期に体重が増加します。
- ・女性の脱毛
- ・乾燥性湿疹
- ・若年性にきび：とくに顔
- ・鼻孔の脂漏症

### MODALITY

- ▶ 月経（特定の月経時の疾患を除く）、新鮮な空気など
- ◀ 排卵から月経までの期間、暑さ、音、触られること、休息中など

### RELATIONS

Foubisterによると、このレメディは皮膚疾患をもつ場合には、使用を控えたほうが良いと報告しています。Folliculinum は、Carcinosin を処方してうまくいかなかった場合にも、考慮されることがあります。

フランスの産婦人科医である Lea de Mattos によると、このレメディはポテンシーによって、さまざまな使用方法があると報告しています。フランス式のポテンシーを以下に簡略に述べます。

3x~4c：刺激、月経促進効果

7c：低ポテンシーと高ポテンシーの、ちょうど均衡するポテンシー

9c：月経周期が極端に短い場合に、月経を遅らせる効果

また、このポテンシーの使い分けは、国によっても異なります。最適な投与は、月経周期の10日目から14日目という報告もあります。ピルを飲んだ後の体調不良のレメディには、*Aristolochia clematis* などもあります。